



2014年1月6日

年頭挨拶（要旨）

昨年日本電産は創業40周年を迎えたが、今年は以下の理由で100年後も健全成長を続けられる会社づくりに向かって、第二の高度成長のスタートの年としていきたい。

創業以来、日本電産グループの成長を牽引してきたパソコンやカメラといったマーケットがピークアウトを迎えてダウントレンドにあるが、一方では家電、産業、商業、車載といったマーケット分野においては軽薄短小化、省エネ化、音と振動と熱の極小化、安心安全化を目的としての各種機器類の技術革新がおきており、日本電産グループが永年蓄積してきた各種モータ関連技術力を使つての活躍の場が急拡大してきている。

かねてから、モータが鉄や半導体に続いて「産業の米」化する時代がやってくると公言してきたが、いよいよその時代が近づいて来ており、ありとあらゆる分野でマイクロモータから超大型モータまでの需要が世界的に拡大することで、再び日本電産グループの高成長が期待できる。

今年も自力成長に加えて国内外でのM&Aによるグローバル成長戦略を実行しつつ、グループ一体化経営のより一層の促進と、業績の更なる向上によって社員の待遇改善を含む働く環境の整備ややりがい追求できる会社づくりに邁進していきたい。

日本電産株式会社
代表取締役社長 永守重信

以上